

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成30年度第3回 米原市子ども・子育て審議会
開 催 日 時	平成30年12月21日（金） 19時00分～20時35分
開 催 場 所	米原市役所山東庁舎2階会議室2AB
出席者および欠席者	出席者：西川正晃委員（会長）、井量昭委員（副会長）、 辻みや子委員、村山善信委員、福永ひろみ委員、 戸田光子委員、四方由美子委員、山口浩徳委員、 木田藤正委員、丸本光雄委員 事務局：こども未来部：田中博之部長 子育て支援課：阿原麻木子課長、高橋仁 保育幼稚園課：奥村義治課長（兼務）、中川浩代、庄司裕之、 清水一美、高畑光昭 欠席者：羽瀧香委員、角田吾一委員、筒井明香委員、山本望委員、 田中寿子委員、武田英里香委員
議 題	（1）子ども・子育て支援に関するアンケート【速報】について
結 論	・ 子ども・子育て支援に関するアンケート【速報】に基づく委員からの 意見、感想を踏まえ、今後の詳細分析やヒアリングを行い、計画策定 に反映することとした。
審 議 経 過 事務局	1 開会 皆さん、改めましてこんばんは。本日は、何かと御多用の中、また年末 ということで慌ただしい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。 定刻より5分早いですけれども、始めさせていただきます。 それでは、審議会を始めるに当たりまして会長から一言御挨拶をお願い します。
会長	皆さん、こんばんは。いよいよ審議会もアンケートが終わりまして、速 報値ではございますけれども、その結果が集計されています。一定の結果 が出まして、前回のものと比べるような内容もあるかなと思います。 その辺りを皆さん、いろいろと忌憚のない御意見を頂ければと思います のでよろしく願いいたします。
事務局	会議に入ります前に資料の確認をお願いいたします。会議次第の裏側 の方に配布資料の一覧を記載しております。順次、読み上げますので御確 認をお願いいたします。 【会議の資料1～3、追加資料について説明】 それでは会議の成立でございますが、米原市子ども・子育て審議会条例 第6条第2項によりまして、委員の半数以上の、16人のうちの8人以上 の出席が必要となっております。本日の出席委員数は、委員16人のうち 10人ですので本審議会が成立しておりますことを御報告いたします。ま た、本日の審議会は、米原市付属機関の会議の公開に関する要領に基づ

<p>会長</p>	<p>きまして、公開で行いますので傍聴者の入室を認めております。また、審議会の議事録の要点を無記名で、市の公式ウェブサイト公表しますので御了承をお願いいたします。それでは、ここから議事に移りたいと存じます。ここからの進行につきましては、西川会長よろしく願いいたします。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 子ども・子育て支援に関するアンケート【速報】について進行を務めさせていただきます。会議次第の2 議題(1) 子ども・子育て支援に関するアンケート【速報】についてですが、あまりにも資料が膨大でございますので、いくつかのブロックに分けて、その都度細かく分けて説明をしていただき、皆様から御質問や御意見を頂こうと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは事務局から説明を幾つかに分けてお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局から、資料1・資料2-1・資料2-2に基づき説明】 【基礎情報】</p>
<p>会長</p>	<p>ここは属性というか基礎情報で、前回の調査との経年変化も御説明をしていただきましたが、ここまでで、どうでしょうか。何か御意見、御質問ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>無作為に発送されたのは、どういう形でこの小学校区で分けたとかは特にないんですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>機械的な無作為になります。</p>
<p>会長</p>	<p>学区を均等に割るようなことはしていないということですよね。とにかく無作為に出したら、米原と坂田がやはり多かったと。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね。</p>
<p>会長</p>	<p>回答も当然多かったと。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。</p>
<p>会長</p>	<p>無作為というのは、そういう無作為である、まずは共通理解していただいて。あとはいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>就学前の2ページのところの問2ですかね。これの0歳のところって極端に少ないというのは。</p>

事務局	<p>ここは0歳ですので、設問の仕方としては、平成30年の4月2日から10月1日までに誕生されている方を0歳の回答欄に入れてあります。当然、6～7か月程度の出生者ということで、全体の半数くらいになるかと考えられますし、この実際の数字見ますと、半数以下になりますので実際に返された方も少なかったかという結果になっております。</p>
委員	<p>3分の1くらいということで、返しにくい状況におられるとか、そういうことも読み取れるのかなと思ったので。わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>いかがでしょうか。では、また戻っていただいて結構ですので、説明を続けていただきます。</p>
事務局	<p>【事務局から、資料2-1・資料2-2に基づき説明】 【地域の子育て支援関連事業について、抜粋して結果を説明】</p>
会長	<p>地域の子育て支援関連事業についての認知度ですね。知っているとか、利用したことがある、今後利用したいというところと、子どもの居場所づくり、これは小学生の方も入っているというところですが。このあたりはいかがでしょうか。事務局の推測ですけれども、認知度・園庭開放や公民館との親子教室というのが、全部減っています。これは確かに就労が高くなっているというのが出ているのですけれども、その辺りの因果関係というのは、もうちょっと調べてみないと言えないですね。これは、クロス集計で見えてくるものでしょうか。その辺りは専門業者でないとわからないかもしれませんが。</p>
事務局	<p>先ほどの就労されているのか、されていないかという設問がございましたので、その設問と今回のここの回答をクロスで集計をすることで一定の傾向があるのかどうかというのは、今後分析することは可能かと思えます。そこで特徴が出るというのですけれども。出ないと、また他の原因が探れるのかと思っております。</p>
会長	<p>そうですね。やはりこれだけ減っているじゃないですか。認知状況から利用経験から利用規模というのが、やはりここがなぜこういうふうになっているのかということを、しっかりと明らかにしていけないと。せっかくアンケートを取って今後の事業に生かしていこうとするのであれば、もう必要ないのか、それとも認知ができていないのか、あるいはもう働いてしまっているからなかなか認知しようとならないのか。そこを正しく分析していけないと駄目だと思いますので、このあたりは慎重にどうか、しっかりと分析をしていただけたらということは希望します。</p>

委員	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>関連はしているのですけれども、問 40 と問 24 のところです。割合が一番多かったものの「子ども同士が交流できるような支援」も、どういった小学校区で多かったのかとか。たぶん子どもが減っていったところが多かったのかなと推測ですけれども、そのあたりをクロス集計してもらえると、課題というのが見えてくるのではないかなと思います。</p>
会長	<p>このように、基本的な速報値ですので、こういうクロスというか、どういふ人たちが多いだろうとかいうようなものを、もう少し分析していくというのが全くできていないので、その辺りでそこをもうちょっと知りたいよねとか、どういふ人たちがということがもしあったら御意見をいただければ、今後の分析に活かしていただけたらと思います。それでは、先に進みますけれども関連するところも出てくるかと思しますので、事務局説明を進めていただけますでしょうか。お願いします。</p>
事務局	<p>【事務局から、資料 2-1・資料 2-2 に基づき説明】 【子どもの育ちをめぐる環境について、抜粋して説明】</p>
会長	<p>問 45 と問 46 ですね。この辺りで御説明をいただきました。小学校でいうと問 29 と問 30 ですね。テレビやDVDを親子で観るといふふうに回答はしているけれども、実は、忙しいから観せておくといふようなものも入っているのか。ちょっと難しいですか、描き出すのは。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
会長	<p>いわゆるワンオペ育児、本当多いと思います。これはそれぞれのお立場で御存じだと思うのですが、スマホでビデオを観させている間だけはちゃんと言う事を聞くけれども、そうでなければ泣き叫ぶような子どもというのは、すごく気になっています。だから、先ほどの問 45、小学校でいうと問 29 ですけれども、このあたり様々な体験をするといふふうに言っていることと、読み・書き・計算は少ないのだけれども、体験の部分というのが、数値上では弱いのかなと感じます。そのあたりが描き出せるといいのかなと思うのですけれども、アンケートでは難しいかなと思います。</p>
委員	<p>問 45 と問 29 というところの、たぶん前回の調査でもルールやマナーを守る、他者を尊重し思いやりを持つといった、ちょっと言葉は違ったかもしれませんが、そこはすごく高かったように記憶をしています。先ほども、様々な体験、経験をすることが低いのでそういう啓発が必要とい</p>

<p>会長</p>	<p>うことを言われたのですが、やり方がいろいろとあると思うので、それがわかってもらえるような何かであると思います。他者を尊重して思いやりを持つとかいう時に、まずは自分のことを大事にできないと他の人を大事にするということではできないということも、是非わかってほしい。だから、自分の気持ちをちゃんと表現できるということが、コミュニケーションにもすごく大事なことであると思うのですが、こういうところがいつも低いのが気になります。これから、何かをする時にそこは気にすることが必要であると思います。前回と同じ傾向だと思っていました。</p> <p>前と同じような傾向で、幼児教育の立場でいうと様々な体験や経験をすることによって、他者を思いやりたり自分で我慢をしたりとかルールやマナーを守ったりとか。それを大事にするから言い聞かせていくということではなくて、幼児期の遊びの中で培われるものが上の方であり、それはそれで大事だけれど、体験や経験というのは、その数値に至っていないという、そのあたりのアンバランスというのは今後のポイントになるのかなと思います。では、ちょっと進めていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局から、資料2-1・資料2-2に基づき説明】 【子育てをしていて感じること、不安についての調査結果説明】</p>
<p>会長</p>	<p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>自分のことというところで、数は少ないのですが、子どもとの接し方、意志の疎通がうまくいかないということはすごく大変なことであると思います。子どもとの時間を十分に持てない、それはもちろん大変ですけど自分の時間を十分に持てないということを、お母さんが回答していることは、本人にとっては結構大変なことだと思います。もう一つ、子どものことで子どもの性格や行動のことが一番気になるというのは、周りの目をすごく気にしているのかなと思うのですが。みんながすごく窮屈になっていることの表れかなと感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>これは数値では見えない部分があるかなと思うのですが、子育ての閉塞感というか子育ては大変であると。大人は自分の時間はないし、大変だというのが、ものすごく膨らんできているような気がします。この会議が始まる前に、ある委員と子育て支援についてしゃべっていたのですが、いろいろと預けるところは増えているけれど、親自身が子育てって楽しいよねっていうことを感じるようなことを本当に支援しているだろうか。預かる、預かりますということじゃなくて。子育てってこんな楽しい、自分の時間はないけれど今は自分の時間よりも子どもとの時間がものすごく充実している、子どもも成長するけれど大人も成</p>

事務局	<p>長していくとか。子育てのネガティブな部分じゃなくて楽しいというところを、子育て支援の預かるだけではなくて、そこを支えていかないと大変なことになるのではないかと。そういう危機感を私は感じました。その辺りがどこまで分析できるかというのはわかりませんが。では、続きましてまた事務局の方から御説明をしていただいていた方がいいでしょうか。</p> <p>【事務局から、資料2-1・資料2-2に基づき説明】 【子どもの遊び場、虐待】</p>
会長	<p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>このアンケートを答えている方はお母さんが多いということで、お母さんがなぜ働きに行かないといけないのかっていう部分について。小さいお子さんがいるのに働いている方とか、離婚をして働かざるを得ないお母さんとか、たくさんの女性の方がいます。若者夫婦だけの場合、自分自身の家を持ったら二人で共稼ぎをしなくちゃいけない。そこでおじいちゃん、おばあちゃんがいたら、子どもを見てもらいながら自分の時間も持てたり、もう少し働く時間も少なくして、子どもと接する時間ができる。しかし、今は時代が変わってきて若い人たちだけで暮らしていて、必要に応じて働かざるを得ない。働いて帰ってきて疲れて子どもと接する時間も持てないとか、全部これがつながっているように思える。このアンケートにお答えしてくれているお母さんが、どんな理由で、収入だけの面だけでなく、自分の友達作りとかいろいろな理由があると思うのですが、どんな感じで働きに出て行っている方が多いのかと思いました。</p>
会長	<p>働きに出ておられるその辺りの理由っていうのが出てくるといいかなという御意見だと思います。他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>子どもをどんな場所で遊ばせたいか、外遊びというのがあったのですがけれども、先ほど、冒険遊び場は言われていましたけど、この外遊びが冒険遊び場かというのと、多分全然違う遊びを考えている方もあるかと思います。いろんな遊び方があると思うので、そこも考えていく必要があるかなと思いました。</p>
会長	<p>外で遊ばせたいけれども、安心、安全の部分でいうと、なかなかそういう場所がないので、冒険遊び場というのも一つの選択肢にはなってくるのかなという気もいたします。これは他の項目のアンケートと一致している部分で、教えてもらうところで遊ばせたいというのは、文字、数字を教えるということを重視されていないという部分でいくと、その幼児</p>

事務局	<p>教育、これが大事ですという部分の御理解はあるような気もいたします。しかし、実際、そういう外遊びをさせるかという、なかなかできない。はい、どうでしょうか。虐待の部分も出ているのですけれども、御感想をいただくと。</p> <p>先ほど、面前DVですら8割前後というように申し上げたのですけれども、しつけのために手を上げるというのが上から2つ目にありまして、これは50パーセントを少し超えたところで、さらに理解が低いという結果になっている。手を上げるに限らず、恐らく、親世代は自分が子どもの時に経験をしているからそれは虐待ではないであろう、あるいはすでにこういうことをしてしまっているから「虐待である」とは丸がつけられない、こういったものが数値に反映されているのかと思います。そのあたり世代間のギャップもあるのかもしれないですし、やはり自分の経験がベースになってくるといこともありますので、御感想や御意見が頂ければ思っております。</p>
会長	<p>虐待はこれだと考えて答えておられるのと同時に、実際の部分があつて。駄目だとわかっているかもしれないけれどしてしまっているというところ、クロス集計していくと見えるか見えないかわからないのですけど、多忙感であるとか子育てのしんどさとか、自分の時間が取れないとか他の項目といろいろ重なってくる部分が出てくるのかもしれない。その辺りどういう対象者にどういう支援が必要かというところも見えてくるかもしれないので、丁寧に見ていく必要があるのかなということは感じました。なかなかそんな単純に見えてくるようなものではないのですけど、いろいろな意味で子育てに、かなり疲れておられるような状況というのがあるんじゃないかなと。</p>
委員	<p>お子さんだけでなく、高齢者の方でもあるのですけれども、行動だけの虐待だけじゃなくて言葉の虐待というのも潜んでいるのかと思います。</p>
会長	<p>まずは速報値で、とにかく、生データが出てきているだけの状態ですので、いろいろこれから分析をする必要があると思うのですけれども、こうして頂いた御意見が、分析ではどういうふうにしていくのかという方向性を決めていくことの一助になるのかなと感じますので、どのような点でも結構ですので、御意見を頂ければと思います。</p>
委員	<p>予防接種や健診を受けさせないといことなんですけど、乳幼児の頃に受ける予防接種や健診というのはこのような感じかなと思います。小学校くらいの任意の予防接種については、あまり薬を入れたくないという人もありました。</p>

会長	<p>いろいろな親の考えということ、その辺りも背景にあるのではないかと いうことで、言葉、文字どおりで虐待であるということではない部分も あるかもしれないということです。それでは、もう少し進めていきたい と思います。</p>
事務局	<p>【事務局から、資料2-1・資料2-2に基づき説明】 【子どもを育てる環境として重要なこと、子育てしやすいまちになるた めに重要なことについて説明】</p>
会長	<p>事務局からの説明としては最後ということですが、今のところ どうでしょうか。</p>
委員	<p>特にお母さんは長時間働いておられるという現状があって、朝の7時30 分から18時30分までフルタイムで0歳を預けて働いておられる親御さん がいます。すごく疲れて帰って、特に低年齢の子どもたちが待っていて、 ちょっとぐずると、ため息をつかれる。お母さんもすごく疲れてお られるなということを思います。園開放とちょっと合致するものがある かなと思いますが、保育参観は何としてもという親御さんが多いのです が、平日の空いた時間を利用する保護者さんは少なくなってきているの が現状かと思います。子育てにすごく疲れているので、ちょっとでも子 育ての喜びを感じてもらえるといいかなと。</p>
会長	<p>最後というか問53・問38ですか、もっと子育てしやすいまちになるに はというので、どちらも仕事と子育てが両立できる職場環境ということ がございまして。これを言っておられる方が多いところで、例えば ですけれども、このアンケートを基に施策を打っていくということで何 ができるかという、職場ですので、例えば米原市のある企業なんかで、 非常に子育てしやすい労働環境を行っておられる企業なんかを表彰して いくとか、競うわけですね。それを審査して年に1回、子育てしやすい企 業ということで表彰される。このアンケートの結果だけではなくて、男 性の育児休業率が非常に高いですとか、在宅で勤務することもできます とか、高齢者に関わっても介護もそうだと思うんですけど、そういうと ころをどんどんとアピールしていくということが大事かと思います。こ れは一つの例ですけれども、このアンケートの中で、これから必要量、 ニーズ量という量の数値が出てくると思うんですけど、それ以外にこ ういうこともできるんじゃないかという市としての積極的な打つ手を描い ていかないと。アンケートを取って経年変化見て終わりですでは駄目な ので。仕事と子育ての両立というのは多いので、市として何ができるか。</p>
委員	<p>女性が働くということはすごく大変なことなのですからけれども、日本の女 性の地位は世界の中で見るとかなり低い。そんなのを見ると日本はすご</p>

	<p>く遅れていると常々感じるのですが、女性が働くということは大切なので応援していきたいと私自身は思っています。ただ、若いお母さん方も見せてもらっていると、情報が多すぎていろんなところで迷っていることが多いのかなと思います。不安なところがいっぱいというのも、ネットにはこうあるし、本にはこう書いてあるし、おばあちゃんはこう言うし。情報がありすぎて、それを自分でどうしていいのかわからないというような、若いお母さんは未熟な上にそういうところに振り回されている感があるのかと思いました。若いお母さん方は大変で、だからお母さん頑張ってではなくて、未熟なりに市で一人一人に寄り添ってできる支援というのがあったらいいなと思います。先ほども、核家族の話もありましてけれど、親と同居するのがいいのかというとそうではなくて、一人一人ケースが違って、親と同居することによって、それがかなりのストレスになって、お嫁さんが潰れてしまうというケースが中にはある。一人一人の問題、虐待についてもそうですけれども、親を責めるんじゃなくてそれぞれ一人一人に寄り添う支援というのが、もうすでにしておられることなのかもしれないですけども、さらに必要なのかなという感想を持ちました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。感想でも結構です。</p>
<p>委員</p>	<p>父母が忙しいというのは本当にそうだと思います。お父さん、お母さんたちは、子どもが病気になっても迎えに結構時間がかかると思います。反対に、おじいちゃん、おばあちゃんは、あっという間に来てくれる。何とかできない御家庭にどういったサポートができるかというのがまず1つあるかだと思います。2つ目に遊び場ですけれども、学校ですずっと遊んでいる子どもたちがいました。それは1つのグループじゃなくて、ゲームをしている子も、この寒いのにほぼ毎日来ています。サッカーとか広い場所でできない遊びをやっている子どもたちもいます。怪我をしたら職員室の窓をコンコンとたたいて、けがしました、診てくださいという感じで治療もできる。トイレ貸してくださいと言って、トイレにも行っています。そういう部分で子どもたちは、多分安心して遊べるというか来るのだらうと思います。でも、それはほんの一部の学校に近い子どもたちで、スクールバスで来ている子どもたちは、とても学校に来ることはできない。そういう御家庭にとっては、近くにそういった良い遊び場があればいいだろうなと思われるのだらうと思います。ですから、安全に行ける遊び場が、いくつかできると本当にいいだろうなと思います。3つ目は虐待の件です。例えば発達障がいをお持ちのお子さんに対して、お母さんたちが気づかずに、言えばわかる、言い聞かせればわかるというような感じで、たたけばわかるという感じになってきている方もいるように思います。そういった時に、相談できる場所があればいいなと思うんです。今、いろんなところがサポートしてくださって、</p>

委員	<p>家庭訪問に行ってくださいの方も市の中にいらっしゃいます。いろんなサポートをしてくださる方が、いろいろ動いているのですが、なかなかそれを上手に見つけ出してつなげることができていないような気がします。そういった部分が、多くの場面で、多くの部門でできればいいかなと思います。</p> <p>私もこのアンケートが家に届きまして、真剣に見ていたら1時間くらい回答するのがかかりまして、大学の論文を読むくらいすごく疲れたというのが、まず一つの感想です。就学前のお子さんのアンケート、居住年数5年から10年未満をトータルすると、約78パーセントの方が米原市に来て10年、子育てされている方が20代、30代、40代でつまりスマホ世代ということになるのかと思います。昔だったら子育て相談、おじいちゃん、おばあちゃんにできるといったことも、今やスマホを見ればいろいろなコメントが出てきたり、他の方のツイッターやブログ見ていると、自分だけで完結できると思います。12ページ、13ページの地域の子育て支援関連事業、私も知らないところがいっぱいあって、前回調査の3分の2くらいに「利用したい」、「はい」という意見が減っているというのは、恐らくスマホでいろいろ子育てについて調べているけれども、米原市として子育て支援をどういったことをしているのかというのが、あまり周知されていないのが実状なのかと思います。園の開放というのは、私は全然知りませんでした。何かもっとホームページに載せるなり、今子育てされている方へもっと周知をすれば、もうちょっとこの調査結果が変わったり、また次の話が見えてくると思います。例えば16ページにあるように米原市に住んでいる子育て支援関連施策があれば、「中学生以下の医療費の無償化」、「第2子以降の保育料の軽減」が2トップということで、いわゆる米原市としての子育て支援はもうお金だけでいいのかなと、そんなふうに見えてしまったのが感想です。最後の方に挙げたのですけども「子育てできる環境として何が必要なのか」ということで、就学前、小学生のお子さんの1位、2位で「自由にのびのびと遊べる場所」と出ております。私も子どもがおおり、まだそんなに遊べないのですけども、米原市で果たして大きな公園あるでしょうか。私はよく長浜市の浅井のスポーツ公園、また彦根市の荒神山に行きます。こういったところは、そこに住んでおられなくても結構近隣の方が行かれるのですけど、米原市で伸び伸びと自由に遊べる場所、せっかく数値がこれだけ上がっている。お金も時間もかかると思うのですけど、荒神山や浅井スポーツ公園に負けないような、伸び伸びとボールを蹴ったり遊べるような施設、遊べる場所というこの意見を酌んでいただきたいなということが感想です。</p>
会長	<p>感想ですがというふうにはおっしゃっておられますけれども、非常に大事な要素を指摘いただいているなと思います。例えば、虐待が起こっちゃ</p>

	<p>うと相談はいろいろとあるけれども、どうサポートしていくか、場所もあると思うのです。米原市も子育て支援センターが出ているけれども、そのあたりをどうつなげていくかという認知の仕方、周知の仕方とかつなげていくとか、そのあたりは丁寧にしていく必要があるのでしょうか。たぶん、そういう御意見であったと理解しております。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>つなげるという部分が大変重要なことであると思っています。横の連携ということをよく言われます。十分できていないところもあるかもしれません。つなげていくということは、常に意識してやっていかないとけないと思います。</p>
委員	<p>今、都市計画課で都市公園の整備を市民みんなの意見を入れながら最初からやろうと取りかかり始められています。是非、そういう集まりがある時に出てきて御意見を。そういうところでいつも私が思うのは、実際お子さんを持っている人が出てきて意見を言って、自分達もこういうことできるということを、できる部分だけでも協力してもらわないと。もう子育て終わった、終わりかけくらいの人とか、それ以上の人とか、まだ子どもいない人とか。ただ仕事でやっているという人だけがやってもできないと思います。是非、そういうのにも出ていただきたいなと思います。</p>
会長	<p>全てのものをつなげていくことは難しいとしても、そのあたりがどこまで周知されているか。会議というのが今あるんですか。</p>
委員	<p>市民のまちづくりネットというグループと都市計画課が一緒になって、市民とともに作る都市公園市民会議という集まりの名称で2回くらい。公園を作った時にどういうことを自分たちはしたいのかなというような意見を集めたり、これからどうやっていくかという話を。具体的なことはまだ何も。やっぱりそこから関わって、たくさんそういう人に関わってもらった方がいいと思っています。</p>
会長	<p>この会議で話し合われた内容も、当然そういうところにも反映していただければと思いますので、是非お願いできればと思います。</p>
事務局	<p>今回のこのアンケートは速報ですけども、こども未来部だけでなく子どもたちに関わる、親御さんに関わる仕事というのが行政の各所にあります。できるだけ早い時期に市役所の中でも情報共有しながら、それぞれの部署が考えていくということ、こちらからも声をあげていきたいと思っています。</p>

<p>会長</p>	<p>今日いろいろと御意見をいただいた部分で横断的につなげていかないといけない部分というのは、非常に重要なことであるというのは確認できたかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今回のアンケートの速報では、すごく面白く読みとれる部分とか、すごく興味ある部分がたくさんあって、御意見をいただいて参考にもなった。前回あった意見と同じ、前の審議会でも同じような意見が出たのが公園整備。子どもを外に出さないといけない、公園がほしい、でもない。ここらはでもグリーンパークしかないという中で、公園を整備していこうという話にも一旦はなって、各関係機関と協議をしながらやっていた。けれども資金もなく、最終的には地域で遊べる場所という中で、冒険遊び場の整備ということになって、整備の補助金がでるようになった。そのあたりの進捗状況等もお聞かせいただきたいなという思いはあります。ただ冒険遊び場だけでなく、小さいお子さんと親子で遊べるようなそういう公園整備で、都市計画課がやられているようなことを皆さんの意見も踏まえて、今後進めていただきたいなと思います。第2子以降の無料化とか医療費の無料化等で、やはり議会でもその成果を聞かれる。私自身も今回のアンケートの速報を見ながら、転入が多いという部分で、そのあたりは子育ての施策にリンクしている、成果が上がっていると思います。米原市は魅力があって自然豊かなところで、自由に伸び伸びと遊べる場所、公園のようなところがたくさんあるわけですけども、大きな公園も必要かと思えます。予算等もありますけれども。そういった中で、米原市が子育て施策をしているから住みたいという人がすごく多いんです。そういった米原市の魅力を持って永住、定住を求める方が、かなり多いということを感じていますので、子育て施策が充実しているのではないかなということを感じています。米原市周辺でアパートに住んでおられて手狭になってきて。かといって大きな家が建てられないという中で、空き家を求めて来られる方がかなり多いです。米原市はいいなということ通勤して来られる方が多いのでびっくりしています。</p>
<p>会長</p>	<p>それだけ子育てしやすい市というように認識されている。しかし、先ほど御発言もありましたけど、お金だけの部分では、多分長続きしない。アンケートの見えない部分に、隠されている思いであるとか、あるいは公園整備という具体的な部分も出てきました。多分これからのこのアンケートの取扱いとしては、ニーズ量という今後5年間の数値がメインになってくる。これから各関係部署やいろいろな団体へのヒアリングを通して、いろいろと話をされていくのと同時にクロス集計で関係する部分がいくつか出てきましたので、そこを是非反映していただいて、ニーズ量プラス市としてこういう施策をやっていくところまである程度出していただければ、今日御意見いただいたのが本当に生きた形になっていくのではないかなと思っております。是非、その辺りを要望させて</p>

委員	<p>いただきたいと思います。</p> <p>先ほど、周知という点で御意見がございましたので。市としてはいろいろ周知をされているように思います。広報であったり、またチラシであったりされているとは思いますが、小学校にはチラシはものすごい数が来ています。小学生対象の事業だろうからというので、米原市とか滋賀県教育委員会とか。たぶんお家では、チラシかというので見られていない部分もあるのではないかと思います。学校からの通知ですら、記から下しか保護者の方は見ていない。保護者の方に見ていただくということは、ものすごく大変だろうと思います。ですから、チラシを配っても、多分届かないと思った方がいいのではないかなと思います。いろいろな方法を考えて周知していただけるといいかなと思います。</p>
会長	<p>とにかく情報があふれていると、そこで周知していくという、ちょっと矛盾しているようなところはあるのですが、しかし本当に、どこも情報があふれていることは確かでありまして、的確にどう届けるのかということも大切なことではないかなと。子育てアプリ、米原市はあるんですか。</p>
事務局	<p>ないです。</p>
会長	<p>子育てアプリというのを作ってやっておられる市というのが増えてきている。有効かどうかはわかりませんが、ある程度、整理していくような方法も必要かなと今のお話をお伺いして感じました。</p>
事務局	<p>12月の議会でも、子育て情報を親御さんに伝える方法としてアプリの御質問をいただきました。ウェブサイト内に「まいはぐ」というサイトはあるのですが、アプリではありませんのでもう少し研究が必要であると答弁をさせていただきました。確かに、皆さん特に若い保護者の方は、今はもうスマホでアプリを使われますので、研究することであると思っています。</p>
会長	<p>課題山積で、とても全てを解決はできないですが、しかしまた次の事業計画を策定する段階に入ります。今日は、速報版ではありましたが、これからじっくり中身を検討していき、そして数値も出していかねばならないという作業が続きます。今日はまず速報値を皆さんで検討していただいたということで、議事においては終了したいと思っております。御協力いただきまして皆さんありがとうございました。それでは、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>それでは、次第の3 その他について最後事務局から説明をさせていた</p>

事務局	<p>できます。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p> <p>(2) 次回審議会の日程について</p> <p>本日お配りしました先ほどの差し替え部分の一番下の資料3、横向きのスケジュールを御覧いただきたいと思います。本日の御意見を踏まえましてアンケート結果を分析して、また今後の保育のニーズ量の算出をこちらで行ってまいります。このスケジュールにありますように、事務局で平成31年の1月から2月に市役所内の関係課にヒアリングを進めてまいります。また、もう少し先になりますけれども、4月から5月にかけて、子育て支援関連団体へのヒアリングを実施してまいりたいと思っております。一番下ほど、次回ですけれども平成31年3月4日(月)の午後7時から行いたいと思っております。ただ、確定申告の時期でこの会議室が使えないということで、現在のところ、近江庁舎での開催を予定しております。それから、今ほども御説明させていただきましたけれども、この審議会自体、様々な子育てに関連する団体から参加していただいておりますので、このヒアリングを希望される団体がありましたら、是非お知らせをしていただきたいと思っております。ヒアリングを実施することで、団体の他の方々の御意見なども直接お聞きできる機会にもなりますので、自分のところでヒアリングをしてほしいといった自薦ですとか、あるいは、こういった団体があるのでこの取組を聞いてもらいたいといった他薦がありましたら、もし今日でもお聞かせいただければ、その御意見を踏まえて次回の審議会でヒアリングの内容やヒアリングの対象団体を事務局案として、お示ししたいと思っております。その他につきましては、事務局からは以上でございます。</p>
事務局	<p>今、申しあげましたヒアリングにつきましては、今日帰りにこういう団体がということをおっしゃってくださっても結構ですし、また後日事務局まで御連絡を頂けたらと思います。こういった団体とヒアリングをすると、計画に生かせるということがありましたら、御一報をよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは閉会にあたりまして、副会長から一言御挨拶をお願ひいたします。</p>
副会長	<p>4 閉会あいさつ</p> <p>それでは皆さま、年末の大変お忙しい中、第3回子ども・子育て審議会の方に御参加をいただきまして本当にありがとうございました。平成もまもなく終わりを迎えますし、新しい時代をお迎えしている。先ほど委員の方からもお話がありました。このアンケートからこの米原市に転入をして来ておられる方というのが、今も多い状態です。これから先、増えてくるのかなと思ひますけれども、本当にその方々がどういふ思ひで</p>

	<p>この米原市に転入をされているのか、第2子以降の保育料の無償化、中学生以下の医療費の無償というところで、やっぱり経済的などころの思いというのがあって、今は入ってきておられるのではないかなというように先ほど聞かさせていただきました。米原市はそれだけじゃないというところを、これから、見せていかななくてはいけないというところが、今日のこのアンケートに表れているのではないかと思います。子育てと仕事の両立というのが、本当に難しい世の中になってまいりました。この子育て真最中のお父さんやお母さん方は、仕事をしていかななくてはいけない、家庭を守っていかななくてはいけないという使命があるからこそ、なかなか真摯に子どもと向き合うことができない。それはやはり忙しさに負けて心にゆとりが無くなってきておるのではないかなということも見てとれます。ゆとりがない親、それにお付き合いをしていく子どもたちは、大人の姿、親の姿というのはしっかりと見ている。そういった子どもが親の姿を見て、どう感じて社会人として大人となっていくのかというところを思いますと、心のゆとり、それはいろんな子育ての悩みに表れているところだと思います。公園の整備、子どもが一生懸命に遊んで、いろんな遊びから学ぶという環境も確かに必要なのかなと思います。大人が生きるということはどういうことなのかなというところが、しっかりと子どもに伝わっていかないとこれからの米原市の未来というものはないんじゃないかなということを感じるわけでございます。滋賀県には、社会福祉の父と呼ばれている糸賀一雄さんという方がおられまして「この子らを世の光に」という言葉を残されております。本当に子どもたちを光として、大人たちもその光の力に照らされて生きていくということが、大切なことではないかなと思います。また、この米原市の子ども・子育て審議会というのものも、新しい年を迎えてさらに発展をして、素晴らしい意見を集約して次の世代に伝えていきたいということを思います。本当に長時間、大変難しい問題を御審議いただきましてありがとうございました。また、皆さま新しい年をそれぞれ御家族の方、お仲間の方とお迎えになられることを念じまして閉会の挨拶とさせていただきます。本日は本当にお疲れさまでございました。</p> <p style="text-align: right;">閉会</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0人 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 一部公開または非公開とした理由 ()</p>
<p>会議録の公開・非公開の別</p>	<p>■開示 <input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/>非公開（根拠法令等：)</p>

全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
担当課	こども未来部子育て支援課